

令和 5 年度

**市内事業所の外国人材の活用等に
関する意識調査報告書**

令和 6 年 3 月

尼崎市

目次

I 調査概要

1 調査の目的	3
2 調査方法等	3
3 調査項目	4
4 回収結果	4

II 結果概要

1 事業所の状況	5
2 人材育成に対する取組	10
3 人材の確保・定着に向け、特に重視していること	10
4 外国人材の活用状況	11
5 雇用している外国人材の人数	11
6 外国人材の雇用を開始した主な理由	14
7 外国人材が従事する業務	14
8 今後の外国人材の雇用に対する考え方	15
9 外国人材の育成・定着に向けた取組	16
10 外国人材に期待する役割	18
11 在留資格別の外国人材の活用状況	19
12 外国人材を活用したいと考える理由	20
13 外国人材の活用を考えていない理由	21
14 実習を修了した技能実習生の活用意向	22

III 資料	23
--------	----

I 調査概要

1 調査の目的

少子高齢化の進展に伴う労働力人口の減少を受け、中小企業・小規模企業者の人材確保が喫緊の経営課題となっている。深刻化する労働力不足を背景として、我が国の中小企業においては外国人材の雇用が急激に進み、厚生労働省『外国人雇用状況』の届出状況のまとめ（令和5年10月末時点）によると、外国人労働者数は2,048,675人にのぼり、雇用する事業所数は「30人未満」規模の事業所が最も多く、事業所数全体の61.9%となっている。令和5年6月には特定技能2号の対象分野が追加され、令和6年2月には技能実習制度を廃止し新たに育成就労制度を設ける方針が決定されるなど、我が国の労働政策は大きく変化している。今後、中小企業・小規模企業の経営者及び外国人材双方にとって望ましい環境を整備していくことが求められる状況にある。

そこで、基礎自治体として採るべき効果的な施策構築に資する統計資料とするため、アンケート調査を実施した。

2 調査方法等

(1) 調査対象

市内産業支援機関（商工会議所、経営者協会、工業会等）の会員事業所のうち、特定産業分野に指定されている業種等外国人材を雇用していると考えられる事業所を無作為に抽出した923社を対象とする。

(2) 調査方法

調査票を郵送にて配布し、郵送またはオンラインにて回収

(3) 実施期間

2023年（令和5年）12月

3 調査項目

「1 事業所の状況」「2 人材育成に対する考え方について」「3 人材確保・定着に対する考え方について」「4 外国人材の雇用状況」「5 雇用している外国人材の人数」「6 外国人材の雇用を開始した主な理由」「7 外国人材が従事する業務」「8 外国人材の雇用に対する考え方」「9 外国人材の育成・定着に向けた取組」「10 外国人材に期待する役

割」「11 在留資格別の外国人材の活用状況」「12 外国人材を活用したいと考える理由」
「13 外国人材の活用を考えていない理由」「14 実習を終了した技能実習生の活用意向
について」の合計 14 項目

4 回収結果

有効配布数 923 件 有効回収数 264 件 有効回収率 28.6%

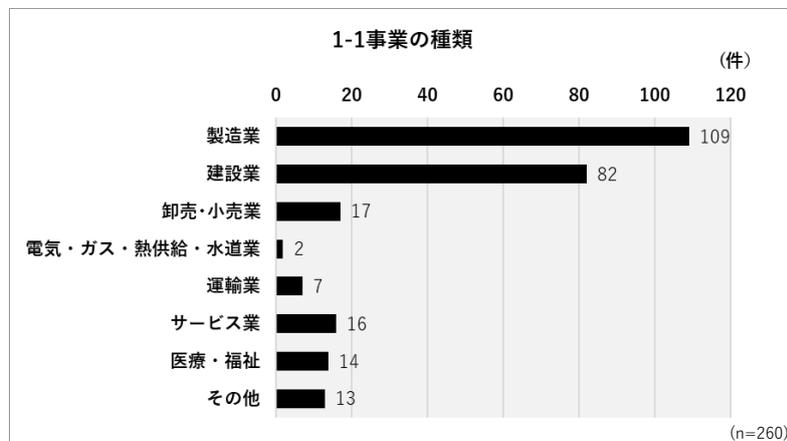
II 結果概要

1 事業所の状況

(1) 主な業種

(問 1-1 単数回答)

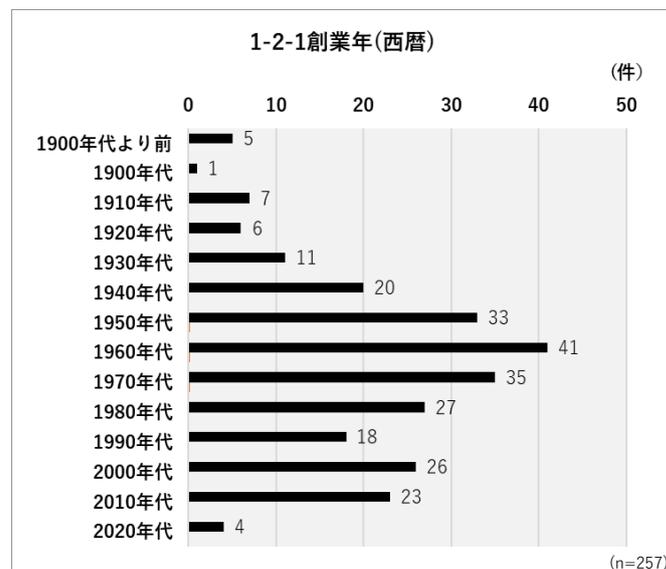
主な業種のうち、最も多かったのは製造業（41.9%）であり、次いで建設業（31.5%）であった。



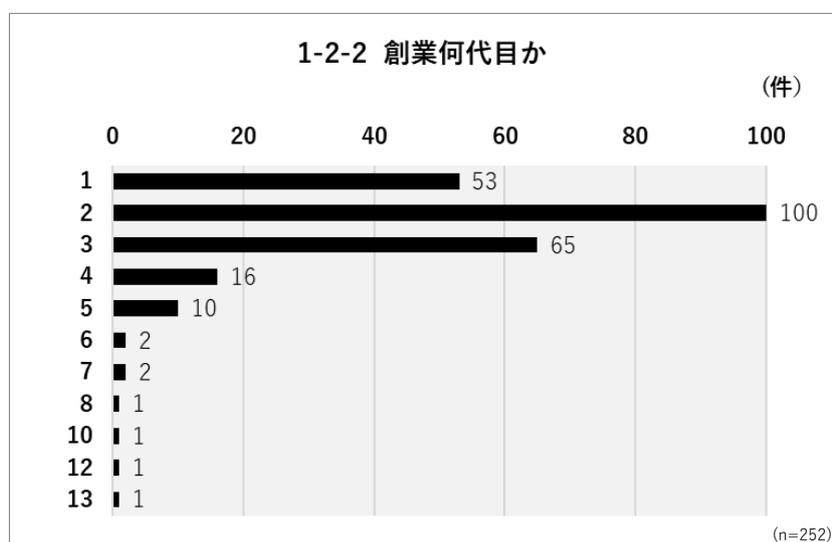
(2) 創業

(問 1-2 単数回答)

創業年のうち、最も多かったのは1960年代（16.0%）であり、次いで1970年代（13.6%）であった。



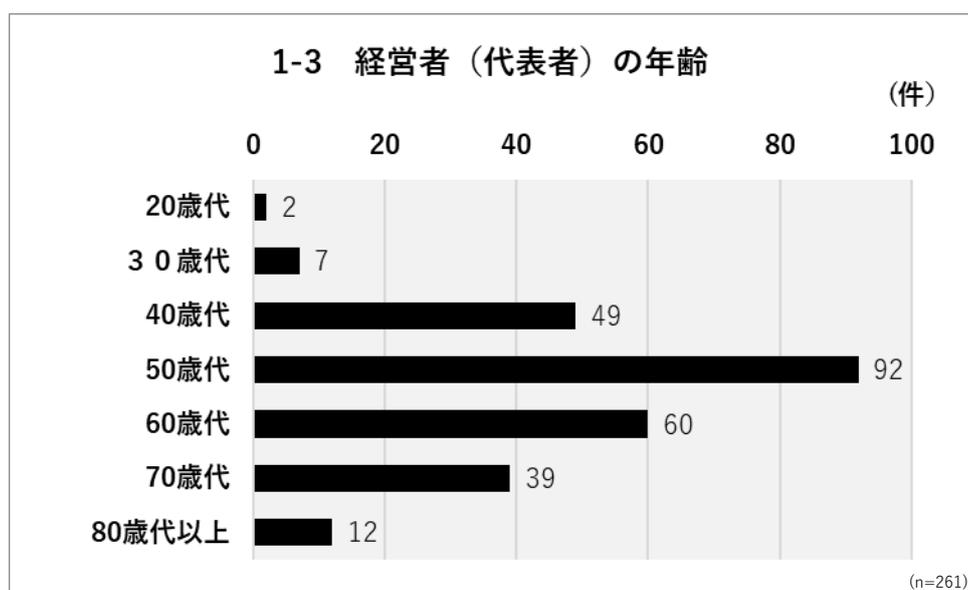
現在の経営者は創業何代目かに対する回答のうち、最も多かったのは創業2代目(39.7%)であり、次いで3代目(25.8%)であった。また、全体の86.5%が、創業3代目までの企業であった。



(3) 経営者の年齢

(問 1-3 単数回答)

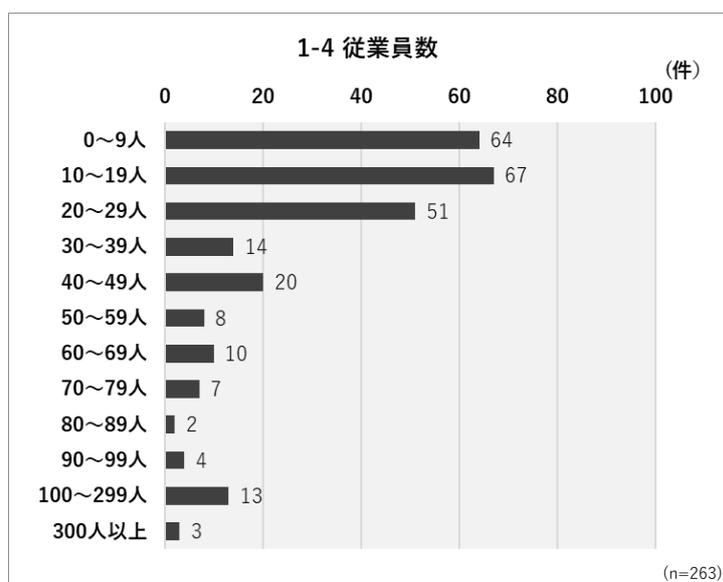
経営者の年齢のうち、最も多かったのは50歳代(35.2%)であり、次いで60歳代(23.0%)であった。



(4) 従業員数

(問 1-4 単数回答)

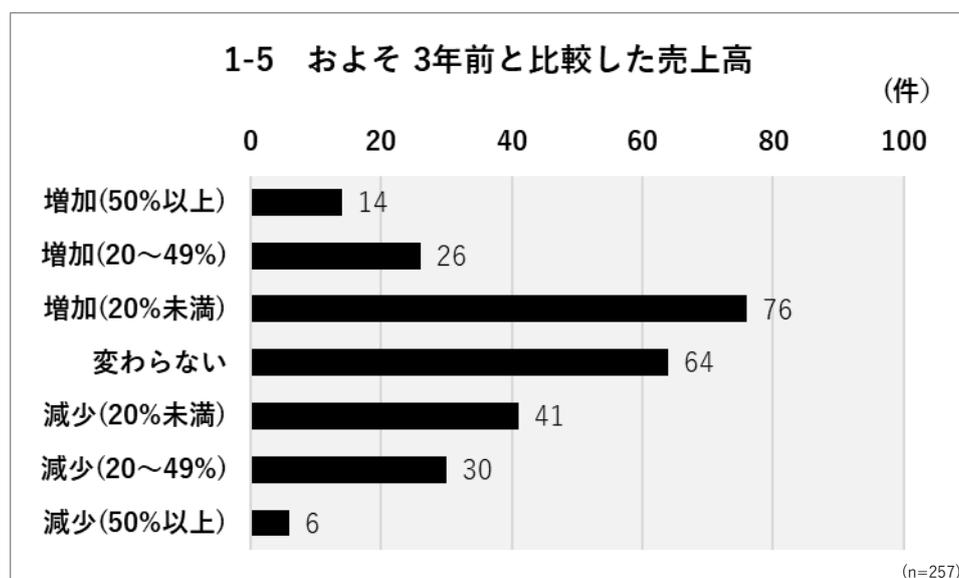
従業員数のうち、最も多かったのは10～19人規模の企業（25.5%）であり、次いで0～9人規模の企業（24.3%）であった。また、全体の69.2%が従業員数30人未満の企業であった。



(5) およそ3年前と比較した現在の売上高の状況

(問 1-5 単数回答)

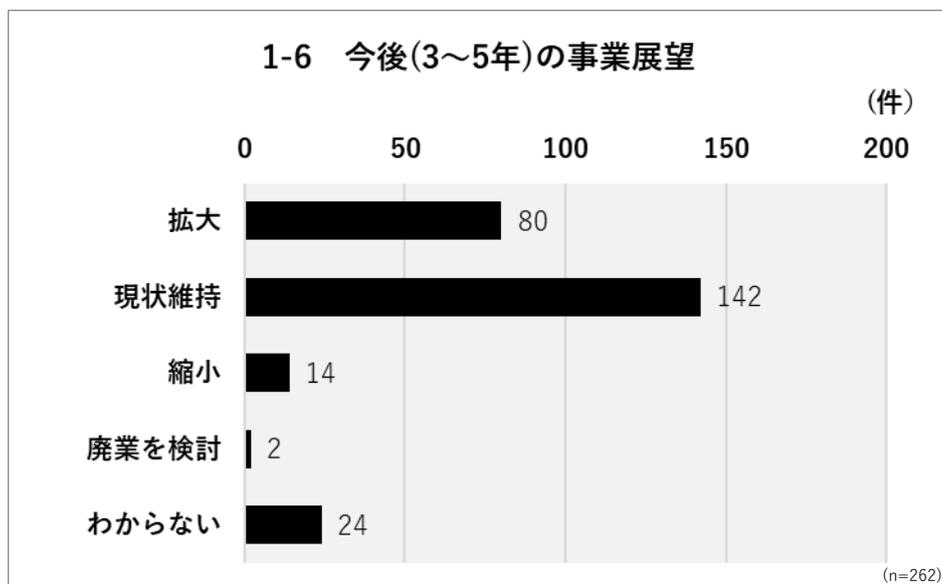
およそ3年前と比較した現在の売上高の状況として、最も多かったのは「増加（20%未満）」（29.6%）であり、次いで「変わらない」（24.9%）であった。全体として、増加傾向にある企業が45.1%、減少傾向にある企業が30.0%であった。



(6) 今後（3～5年）の事業展望

(問 1-6 単数回答)

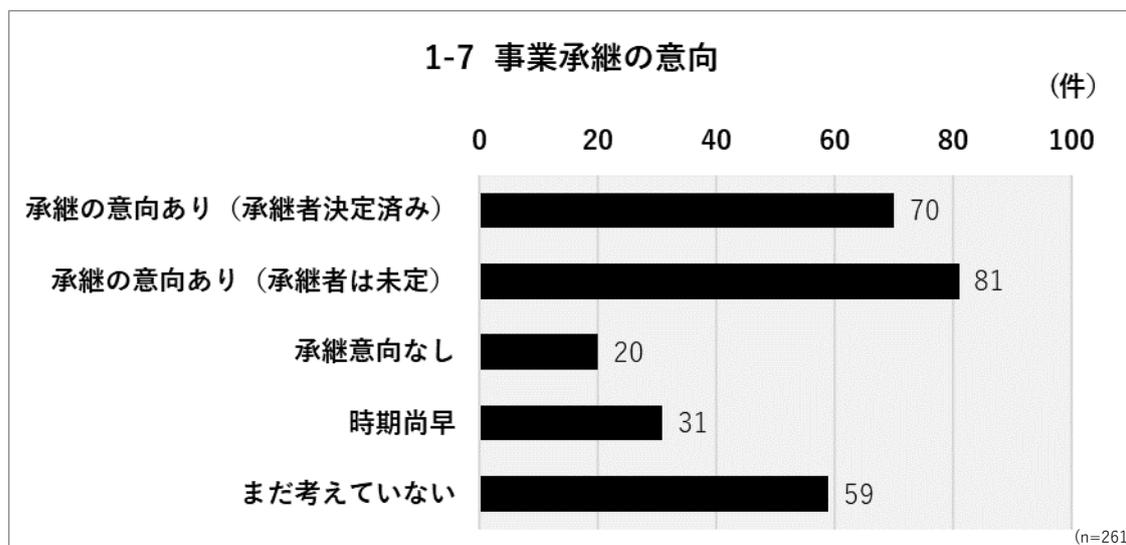
今後の事業展望として、最も多かったのは「現状維持」(54.2%)であり、次いで「拡大」(30.5%)であった。



(7) 事業の承継意向

(問 1-7 単数回答)

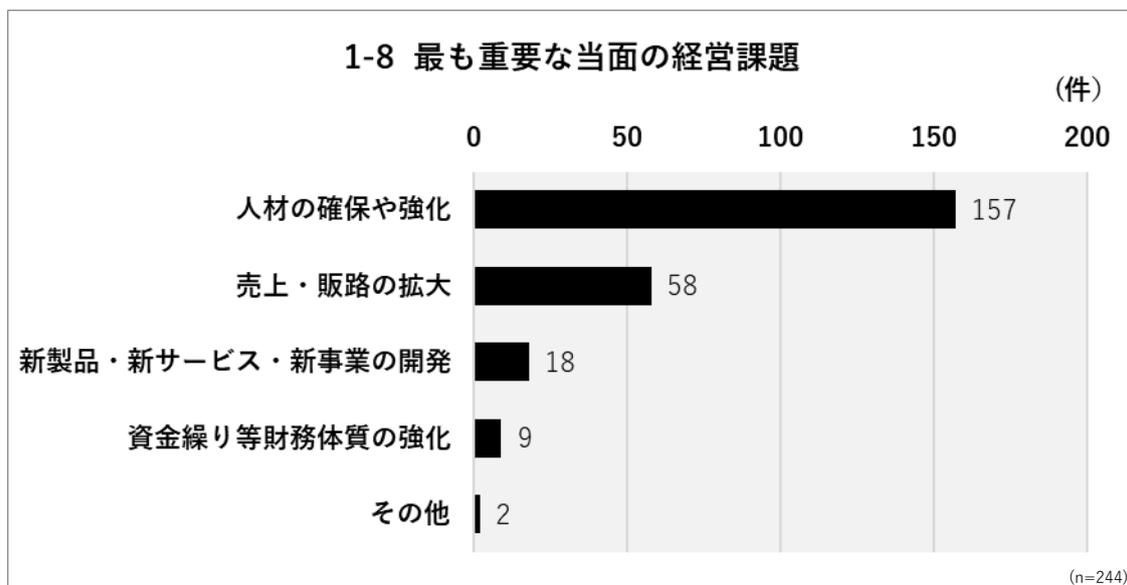
事業の承継意向として、最も多かったのは、「承継の意向あり(承継者は未定)」(31.0%)であり、次いで「承継の意向あり(承継者決定済み)」(26.8%)であった。



(8) 最も重要な当面の経営課題

(問 1-8 単数回答)

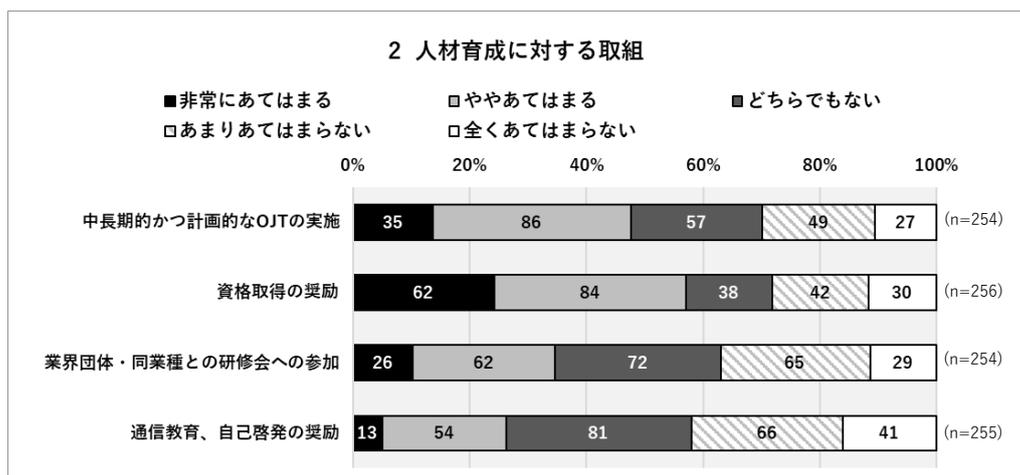
最も重要な当面の経営課題として、最も多かったのは、「人材の確保や強化（採用・育成・多様化への対応等）」（64.3%）であり、次いで「売上・販路の拡大」（23.8%）であった。



2 人材育成に対する取組

(問 2-1～4 単数回答)

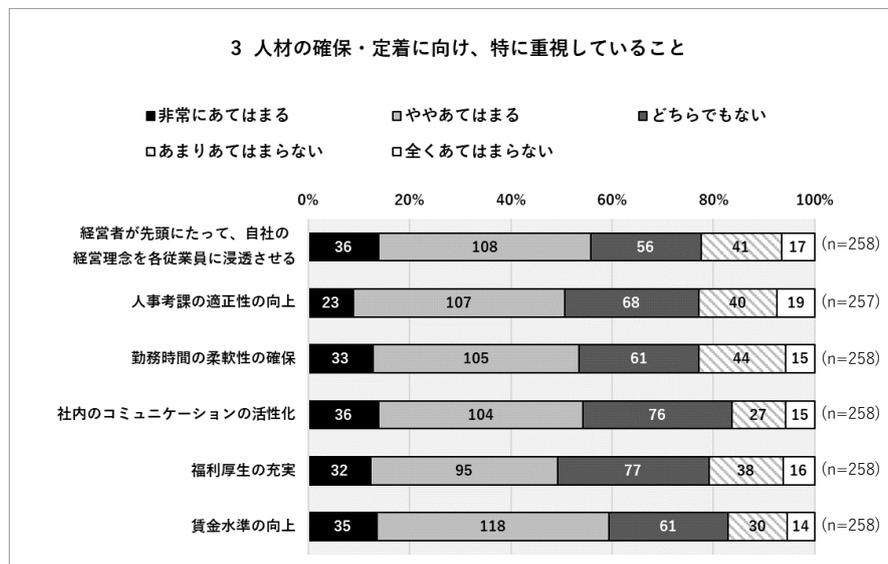
人材育成に対する取組として、「非常にあてはまる」「ややあてはまる」と回答した企業の割合が最も多かった取組は「資格取得の奨励」(57.0%)であり、次いで「中長期的かつ計画的な OJT の実施」(47.6%)であった。



3 人材の確保・定着に向け、特に重視していること

(問 3-1～6 単数回答)

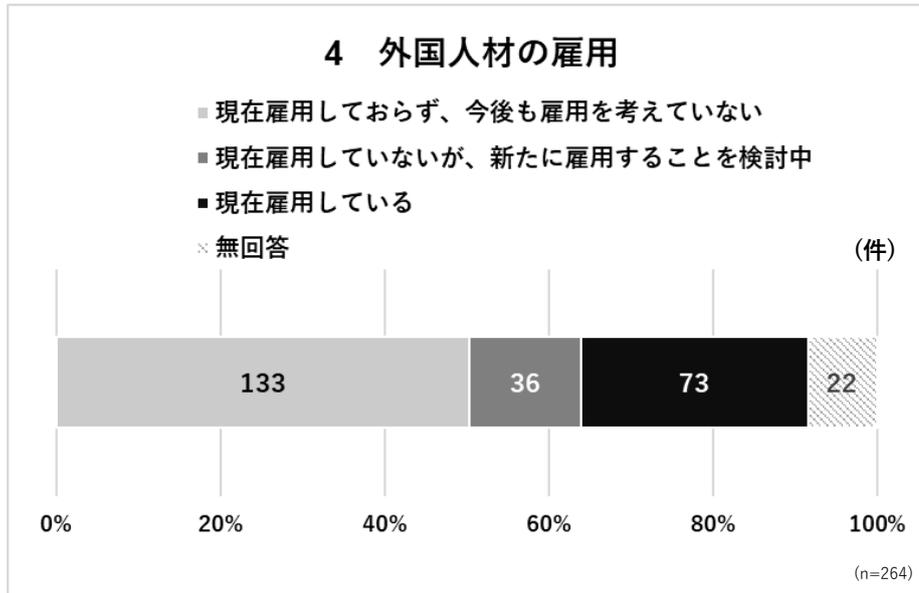
人材の確保・定着に向け、特に重視していることとして、「非常にあてはまる」「ややあてはまる」と回答した企業の割合が最も多かった項目は「賃金水準の向上」(59.3%)であり、次いで「経営者が先頭にたって、自社の経営理念を各従業員に浸透させる」(55.8%)であった。



4 外国人材の活用状況

(問 4 単数回答)

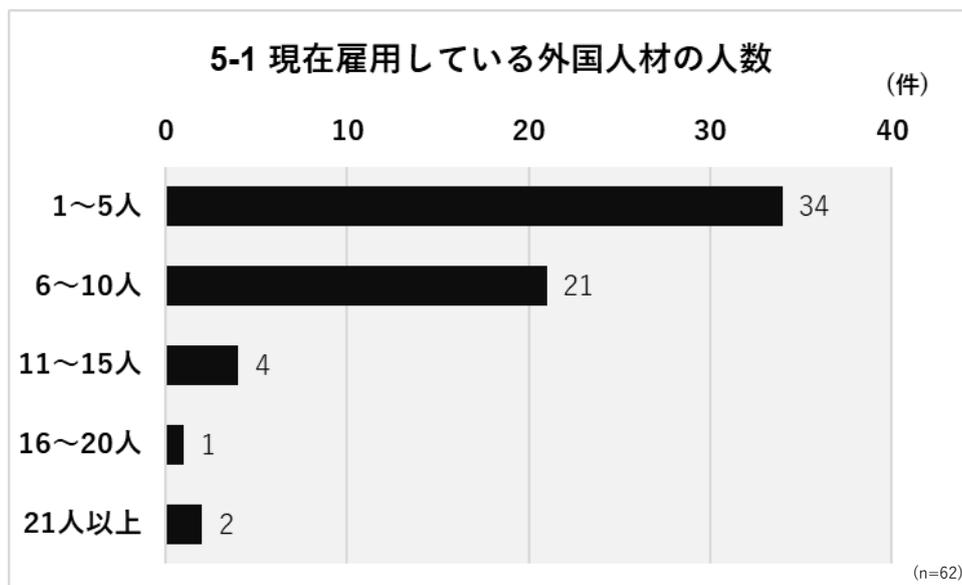
現在、外国人材を活用している企業の割合は、全体の 27.7%であった。



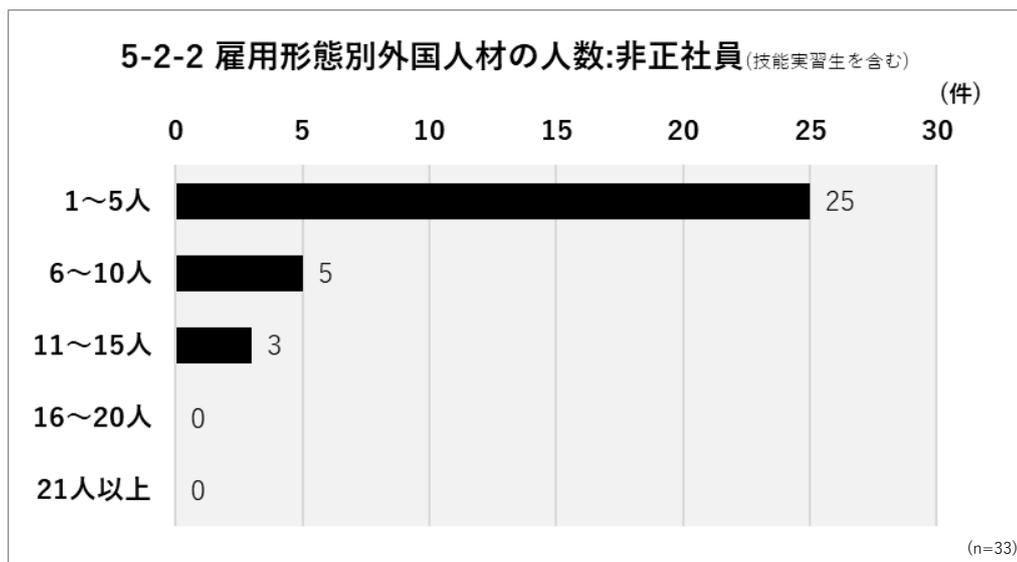
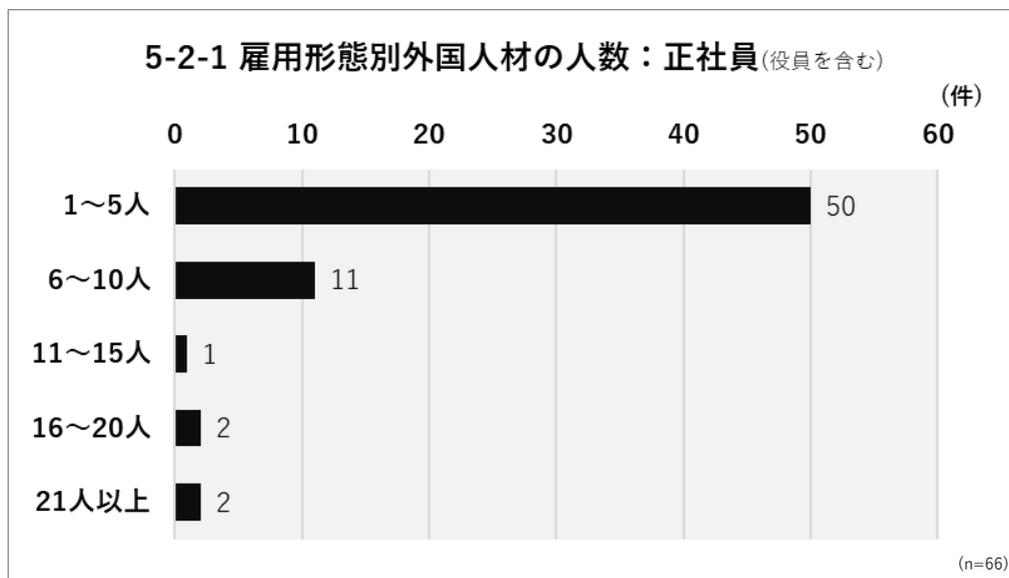
5 雇用している外国人材の人数

(問 5)

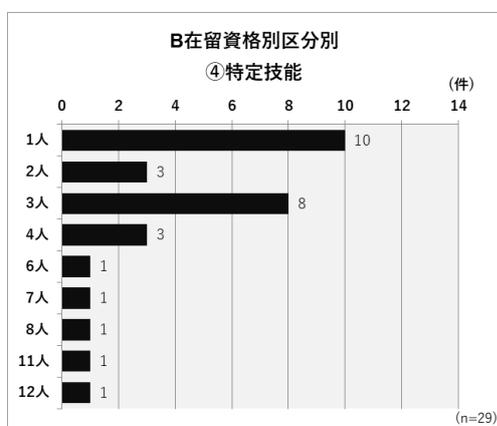
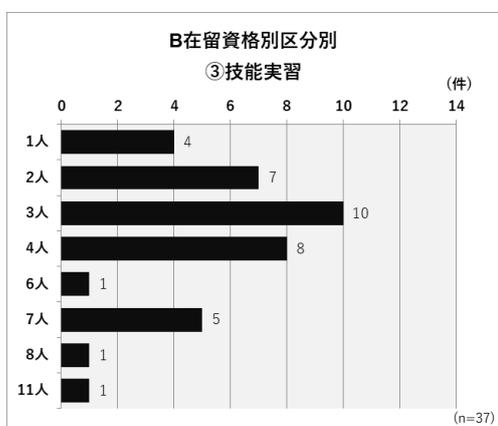
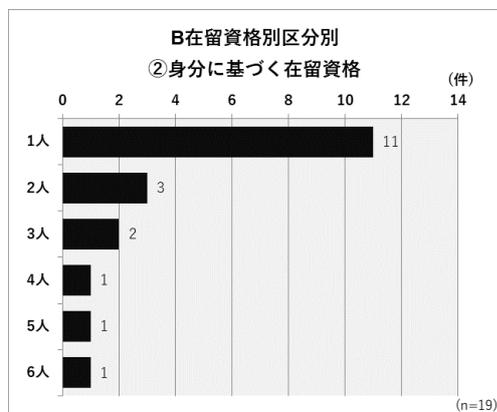
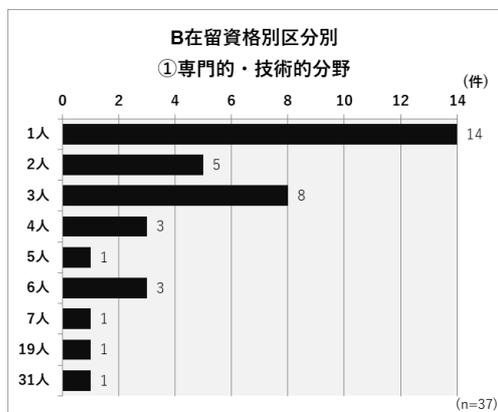
現在雇用している外国人材の人数として、最も多かった回答は「1 人」(30.5%)であった。5人ずつ層別すると、「1~5人」が最も多かった(75.8%)。



また、正社員外国人材を雇用しているとの回答は 66 件、非正社員（技能実習生を含む）外国人材を雇用しているとの回答は 33 件であった。



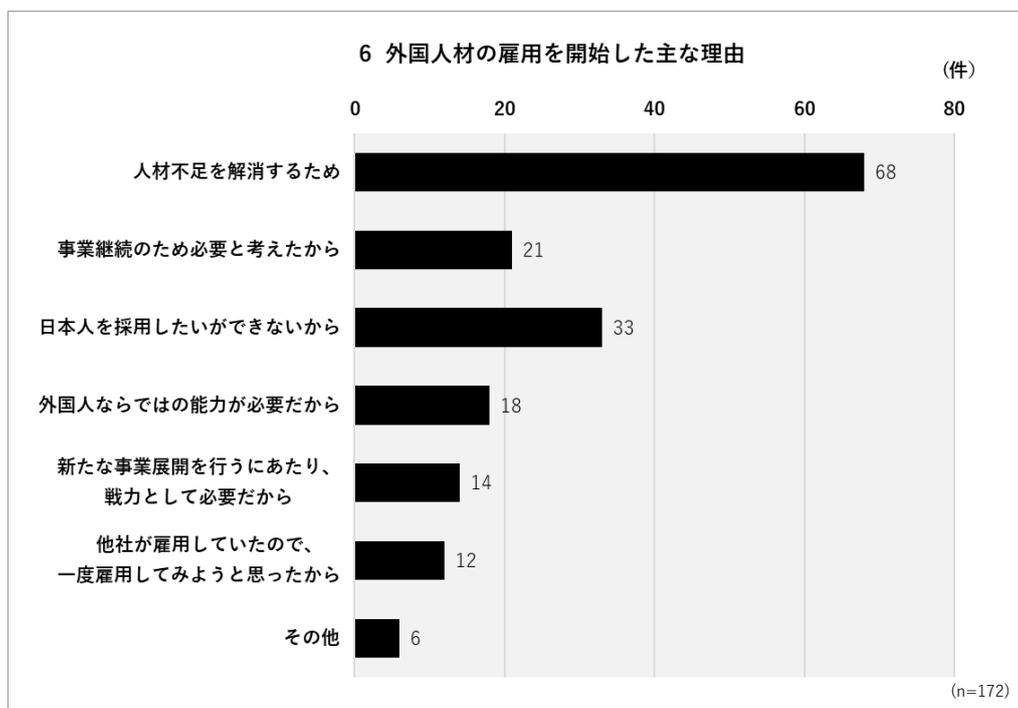
また、在留資格別に区分した結果は、次の図の通りであった。



6 外国人材の雇用を開始した主な理由

(問 6 複数回答)

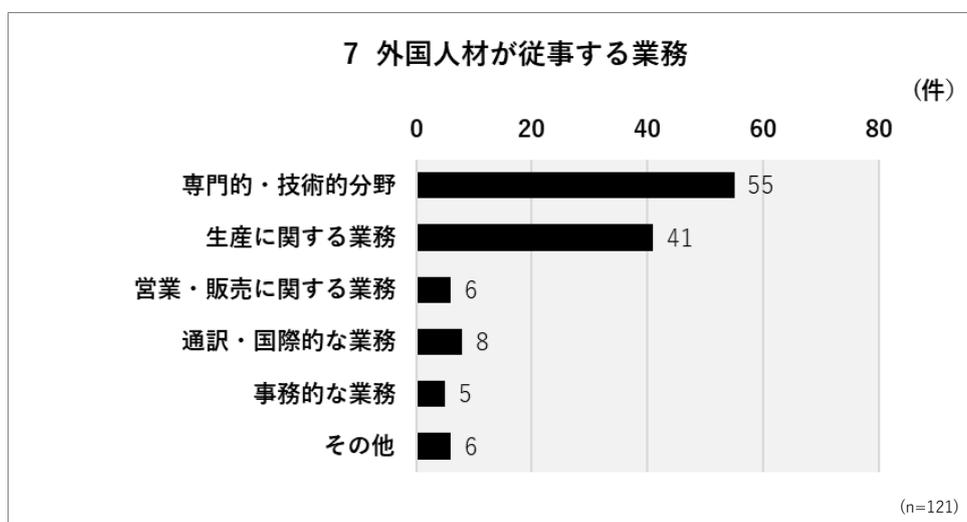
外国人材の雇用を開始した主な理由として、最も多かったのは「人材不足を解消するため」であり、次いで「日本人を採用したいができないから」であった。



7 外国人材が従事する業務

(問 7 複数回答)

外国人材が従事する業務として、最も多かったのは「専門的・技術的分野」であり、次いで「生産に関する業務」であった。

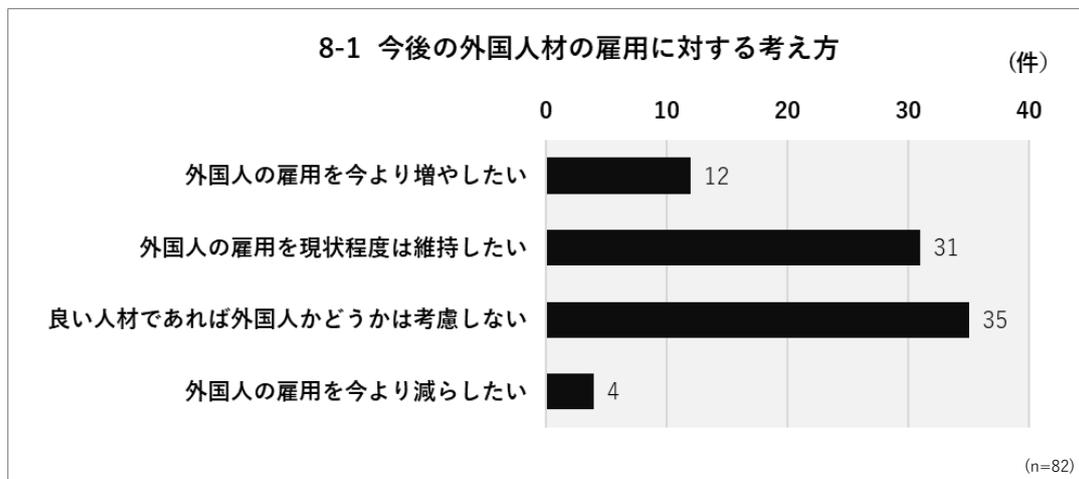


8 今後の外国人材の雇用に対する考え方

(1) 今後の外国人材の雇用に対する考え方

(問 8-1 単数回答)

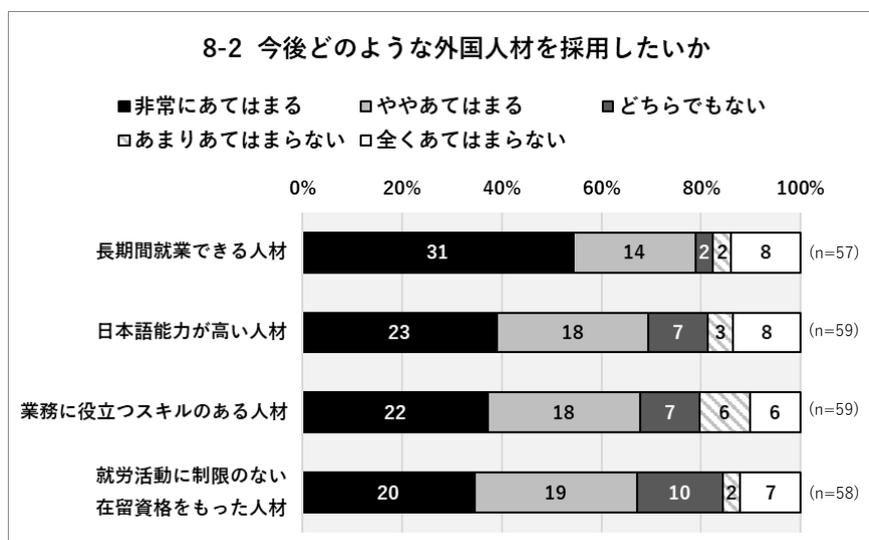
今後の外国人材の雇用に対する考え方として、最も多かったのは「良い人材であれば外国人かどうかは考慮しない」(42.7%)であり、次いで「外国人の雇用を現状程度は維持したい」(37.8%)であった。また、「外国人の雇用を今より増やしたい」と「外国人の雇用を現状程度は維持したい」との回答を合わせると、全体の52.4%にのぼった。



(2) どのような外国人材を雇用したいか

(問 8-2-1~4 単数回答)

どのような外国人材を雇用したいかについて、「非常にあてはまる」「ややあてはまる」と回答した企業の割合が最も多かった項目は、「長期間就業できる人材」であった(全体の78.9%)。

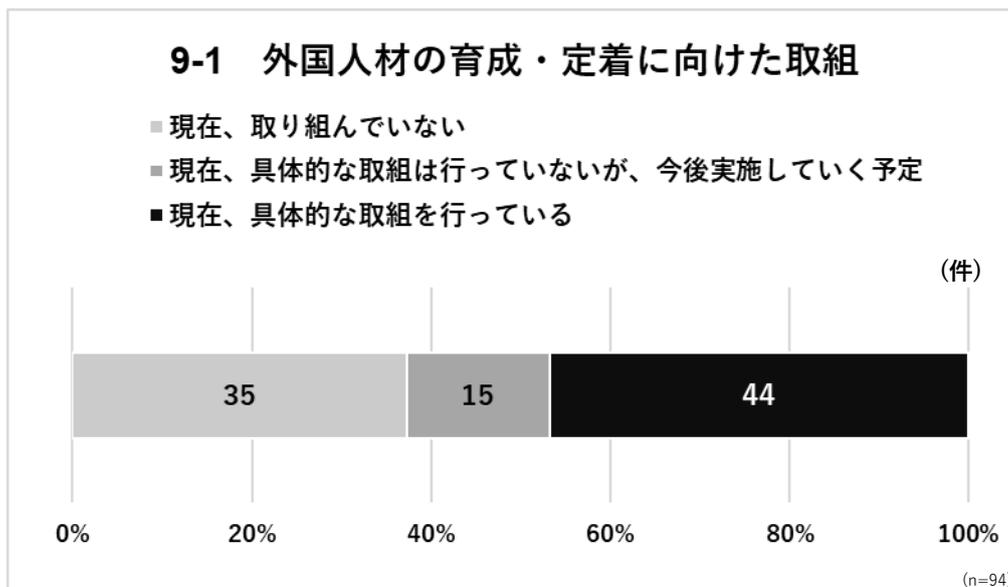


9 外国人材の育成・定着に向けた取組

(1) 外国人材の育成・定着に向けた取組の有無

(問 9-1 単数回答)

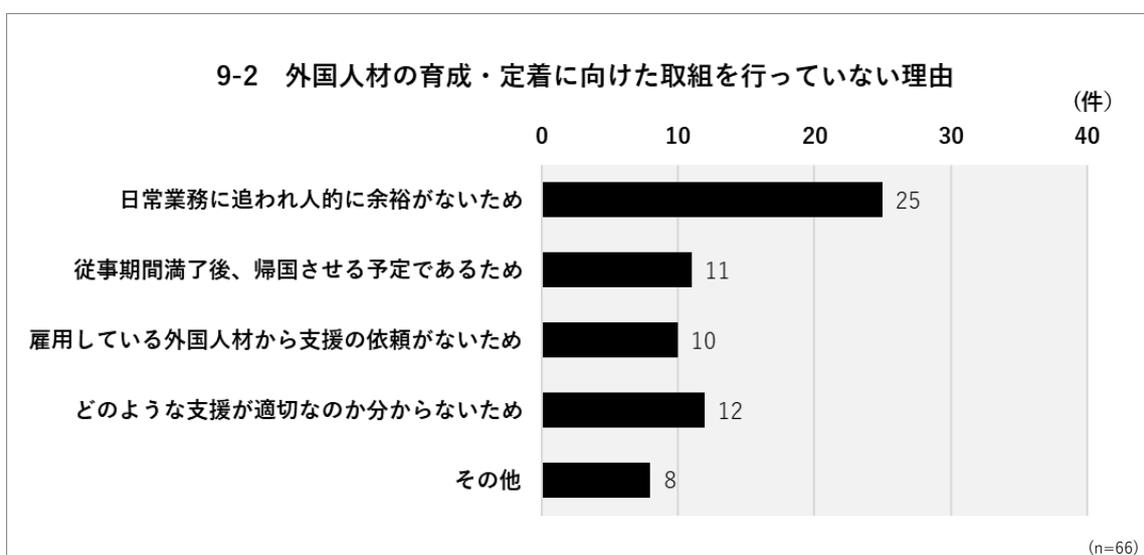
外国人材の育成・定着に向けた具体的な取組の有無について、最も多かったのは「現在、具体的な取組を行っている」(46.8%)であった。



(2) 上記(1)の取組を行っていない理由

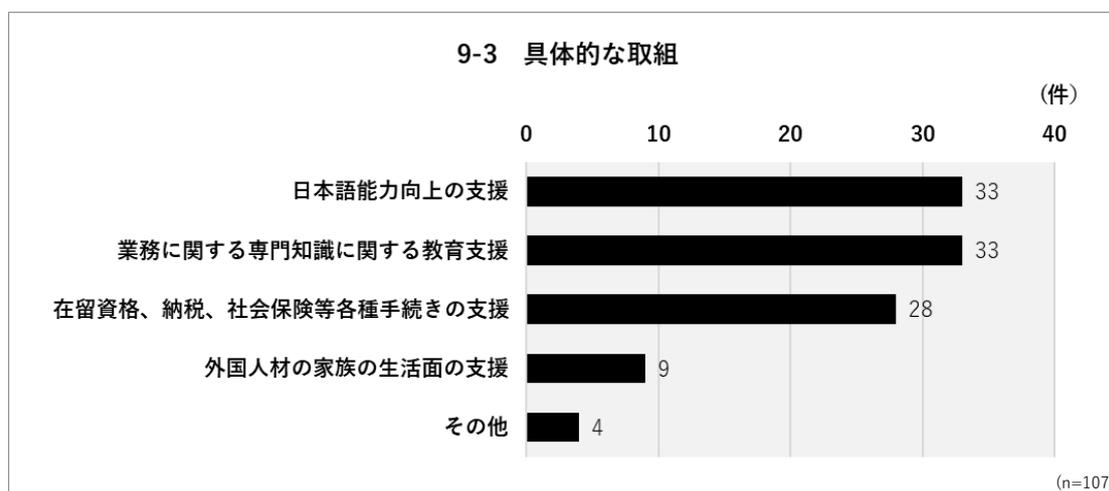
(問 9-2 複数回答)

外国人材の育成・定着に向けた具体的な取組を行っていない理由として、最も多かったのは、「日常業務に追われ人的に余裕がないため」(25件)であった。



(3) 上記(1)で取組を行っている場合の具体的な内容 (問 9-3 複数回答)

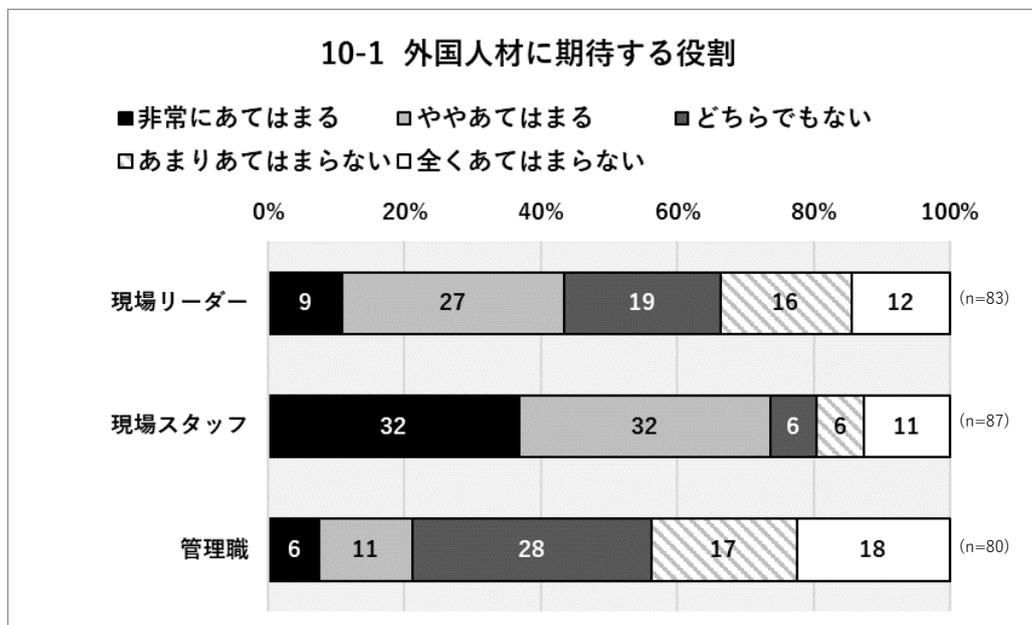
外国人材の育成・定着に向けた具体的な取組として、最も多かったのは、「日本語能力の向上」および「業務に関する専門知識に関する教育支援」(ともに33件)であった。



10 外国人材に期待する役割

(問 10-1～3 単数回答)

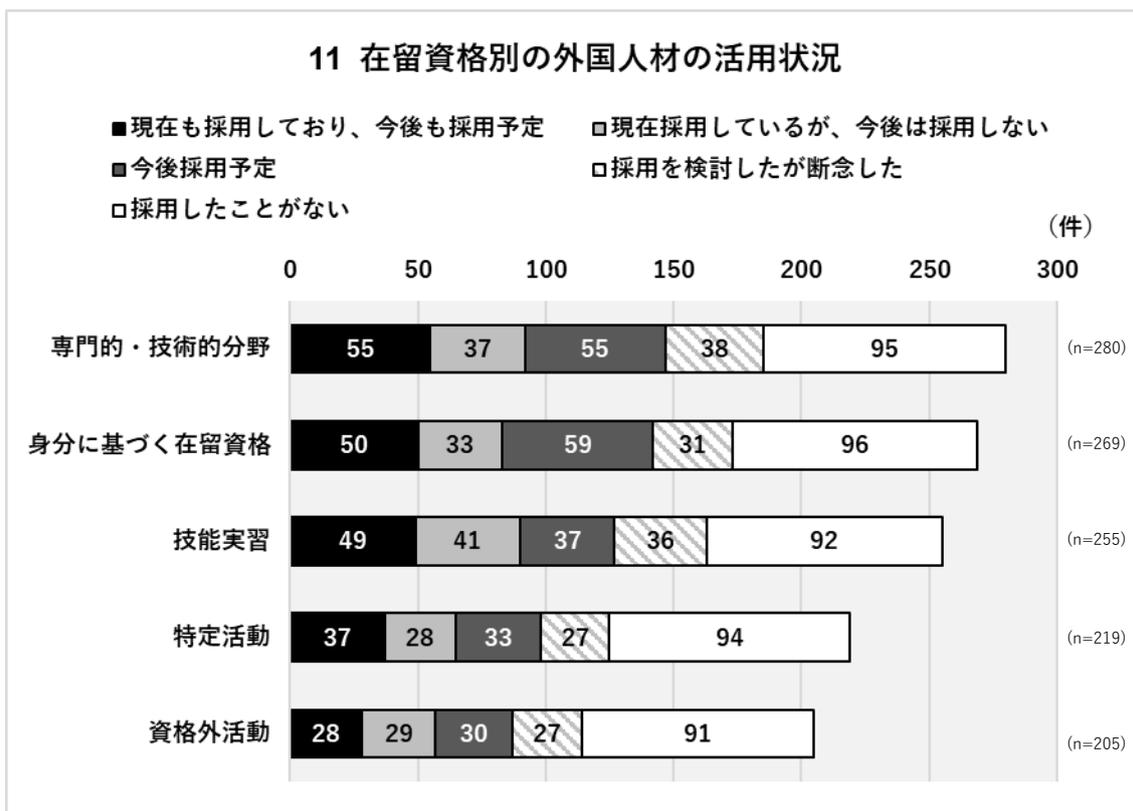
外国人材に期待する役割について、「非常にあてはまる」「ややあてはまる」と回答した企業の割合が最も多かった項目は、「現場スタッフ」(73.6%)であった。



11 在留資格別の外国人材の活用状況

(問 11-1～5 複数回答)

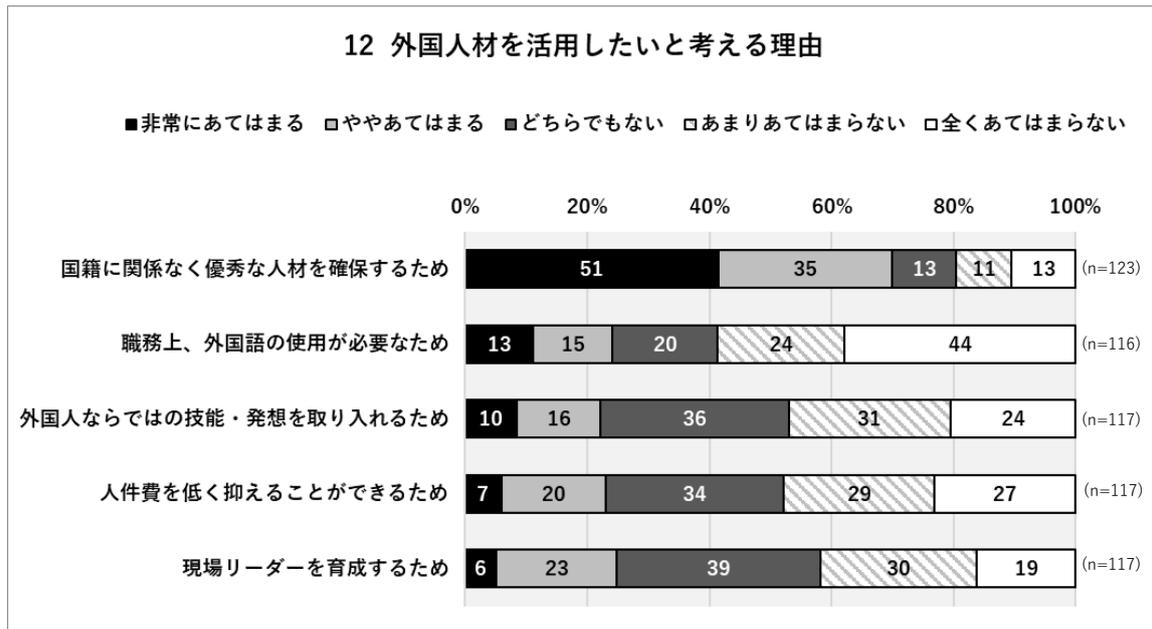
「現在も採用しており、今後も採用予定」または「今後採用予定」の在留資格として最も多かった回答は、「専門的・技術的分野」(110件)、次いで「身分に基づく在留資格」(109件)であった。また、「現在採用しているが、今後は採用しない」在留資格として最も多かった回答は、「技能実習」(41件)であった。



12 外国人材を活用したいと考える理由

(問 12-1～5 単数回答)

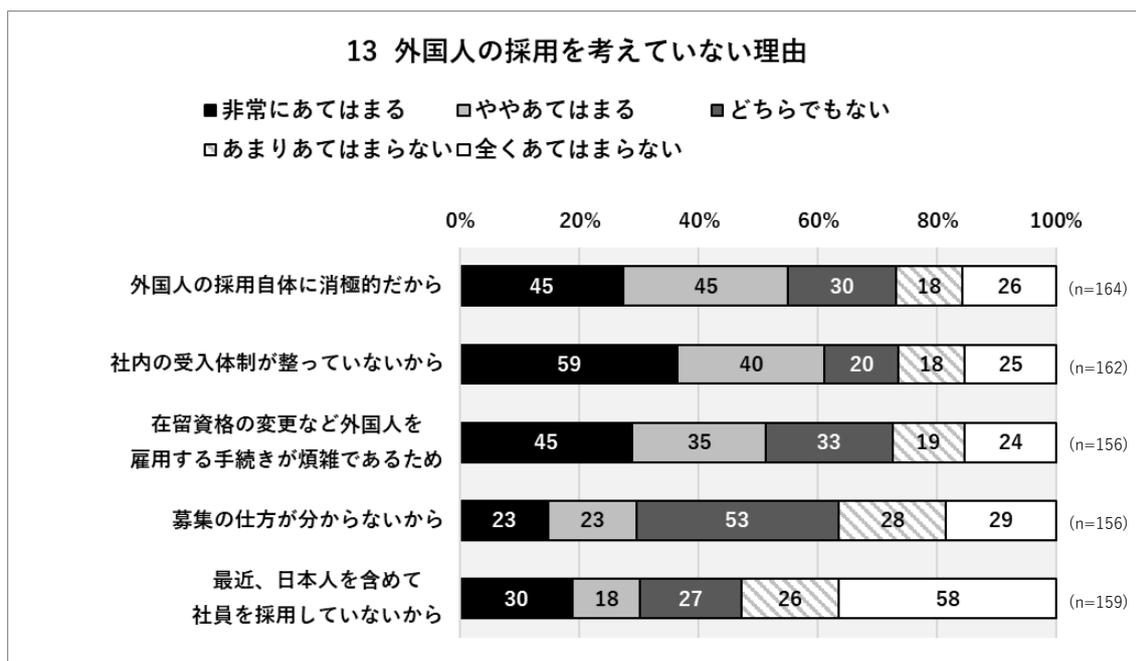
外国人材を活用したいと考える理由として、「非常にあてはまる」「ややあてはまる」と回答した企業の割合が最も多かった項目は、「国籍に関係なく優秀な人材を確保するため」(69.9%)、次いで「現場リーダーを育成するため」(24.8%)であった。



13 外国人材の活用を考えていない理由

(問 13-1～5 単数回答)

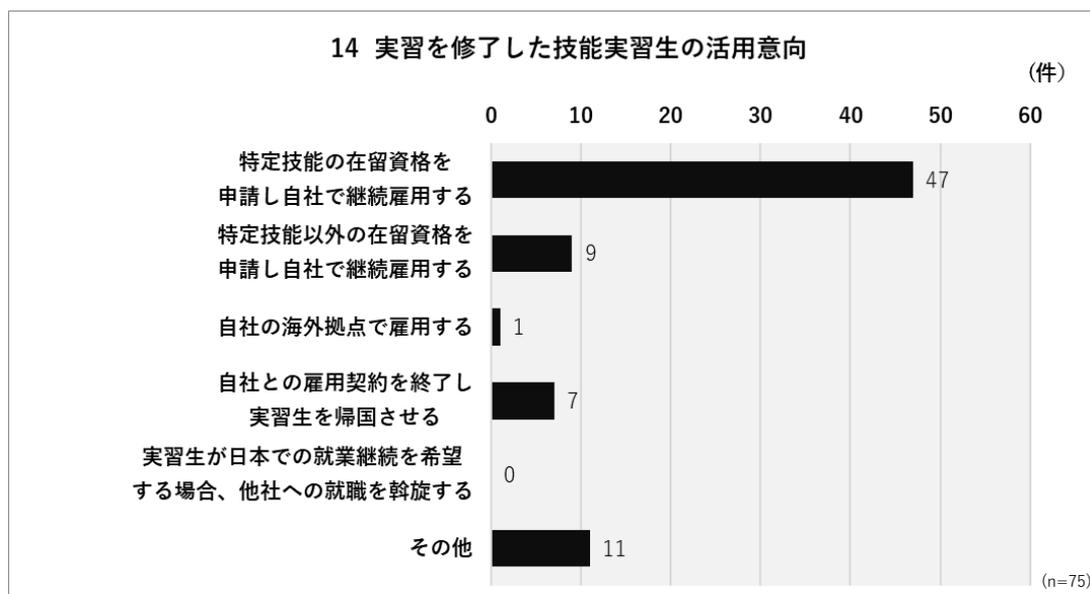
外国人材の活用を考えていない理由として、「非常にあてはまる」「ややあてはまる」と回答した企業の割合が最も多かった項目は「社内の受入体制が整っていないから」(61.1%)であり、次いで「外国人の採用自体に消極的だから」(54.9%)であった。



14 実習を修了した技能実習生の活用意向

(問 14 単数回答)

実習を修了した技能実習生の活用意向として、最も多かった回答は、「特定技能の在留資格を申請し、自社で継続雇用する」(62.7%)であり、次いで「その他」(14.7%)であった。



III 資料

【調査票及び単純集計結果】

【1】貴社の状況について、お伺いします。

(1) 主な業種は何ですか。(複数の事業を営んでいる場合には、売上が最も多いもの
1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
1	製造業	109	41.3%	41.9%
2	建設業	82	31.1%	31.5%
3	卸売・小売業	17	6.4%	6.5%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	2	0.8%	0.8%
5	運輸業	7	2.7%	2.7%
6	サービス業	16	6.1%	6.2%
7	医療・福祉	14	5.3%	5.4%
8	その他	13	4.9%	5.0%
	無回答	4	1.5%	
	合計	264	100.0%	

(2)-1 創業年は西暦何年ですか。

カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
1900年代より前	5	1.9%	1.9%
1900年代	1	0.4%	0.4%
1910年代	7	2.7%	2.7%
1920年代	6	2.3%	2.3%
1930年代	11	4.2%	4.3%
1940年代	20	7.6%	7.8%
1950年代	33	12.5%	12.8%
1960年代	41	15.5%	16.0%
1970年代	35	13.3%	13.6%
1980年代	27	10.2%	10.5%
1990年代	18	6.8%	7.0%
2000年代	26	9.8%	10.1%
2010年代	23	8.7%	8.9%
2020年代	4	1.5%	1.6%
無回答	7	2.7%	
合計	264	100.0%	

(2)-2 現在の経営者は創業何代目ですか。(1つに○印)

カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
1代目	53	20.1%	21.0%
2代目	100	37.9%	39.7%
3代目	65	24.6%	25.8%
4代目	16	6.1%	6.3%
5代目	10	3.8%	4.0%
6代目	2	0.8%	0.8%
7代目	2	0.8%	0.8%
8代目	1	0.4%	0.4%
10代目	1	0.4%	0.4%
12代目	1	0.4%	0.4%
13代目	1	0.4%	0.4%
無回答	12	4.5%	
合計	264	100.0%	

(3) 経営者（代表者）の年齢は何歳代ですか。(1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
1	20歳代	2	0.8%	0.8%
2	30歳代	7	2.7%	2.7%
3	40歳代	49	18.6%	18.8%
4	50歳代	92	34.8%	35.2%
5	60歳代	60	22.7%	23.0%
6	70歳代	39	14.8%	14.9%
7	80歳代以上	12	4.5%	4.6%
	無回答	3	1.1%	
	合計	264	100.0%	

(4) 従業員は何人ですか。(2023年11月時点の人数)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
	0～9人	64	24.2%	24.3%
	10～19人	67	25.4%	25.5%
	20～29人	51	19.3%	19.4%
	30～39人	14	5.3%	5.3%
	40～49人	20	7.6%	7.6%
	50～59人	8	3.0%	3.0%
	60～69人	10	3.8%	3.8%
	70～79人	7	2.7%	2.7%
	80～89人	2	0.8%	0.8%
	90～99人	4	1.5%	1.5%
	100～299人	13		4.9%
	300人以上	3	1.1%	1.1%
	無回答	1	0.4%	
	合計	264	100.0%	

(5) およそ3年前と比較して、現在の売上高はいかがですか。(1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
1	増加(50%以上)	14	5.3%	5.4%
2	増加(20～49%)	26	9.8%	10.1%
3	増加(20%未満)	76	28.8%	29.6%
4	変わらない	64	24.2%	24.9%
5	減少(20%未満)	41	15.5%	16.0%
6	減少(20～49%)	30	11.4%	11.7%
7	減少(50%以上)	6	2.3%	2.3%
	無回答	7	2.7%	
	合計	264	100.0%	

(6) 今後(3~5年)の事業展望はいかがですか。(1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
1	拡大	80	30.3%	30.5%
2	現状維持	142	53.8%	54.2%
3	縮小	14	5.3%	5.3%
4	廃業を検討	2	0.8%	0.8%
5	わからない	24	9.1%	9.2%
	無回答	2	0.8%	
	合計	264	100.0%	

(7) 貴社の事業の承継について現時点ではどのようにお考えですか。(1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
1	承継の意向あり (承継者決定済み)	70	26.5%	26.8%
2	承継の意向あり (承継者は未定)	81	30.7%	31.0%
3	承継意向なし	20	7.6%	7.7%
4	時期尚早	31	11.7%	11.9%
5	まだ考えていない	59	22.3%	22.6%
	無回答	3	1.1%	
	合計	264	100.0%	

(8) 現在、貴社において最も重要な当面の経営課題は何ですか。(1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
1	人材の確保や強化	157	59.5%	64.3%
2	売上・販路の拡大	58	22.0%	23.8%
3	新製品・新サービス・新事業の開発	18	6.8%	7.4%
4	資金繰り等財務体質の強化	9	3.4%	3.7%
5	その他	2	0.8%	0.8%
	無回答	20	7.6%	
	合計	264	100.0%	

【2】 貴社の「人材育成に対するお考え」について、お伺いします。

人材の育成に向け、どのような取り組みをされていますか。

下記のそれぞれの項目について、どの程度あてはまりますか。1～5のうち**1つに○印**を付けてください。

No.		カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
(1)	中長期的かつ計画的な OJT の実施	1 全くあてはまらない	27	10.2%	10.6%
		2 あまりあてはまらない	49	18.6%	19.3%
		3 どちらでもない	57	21.6%	22.4%
		4 ややあてはまる	86	32.6%	33.9%
		5 非常にあてはまる	35	13.3%	13.8%
		無回答	10	3.8%	
		合計	264	100.0%	
(2)	資格取得の奨励	1 全くあてはまらない	30	11.4%	11.7%
		2 あまりあてはまらない	42	15.9%	16.4%
		3 どちらでもない	38	14.4%	14.8%
		4 ややあてはまる	84	31.8%	32.8%
		5 非常にあてはまる	62	23.5%	24.2%
		無回答	8	3.0%	
		合計	264	100.0%	
(3)	業界団体・同業種との研修会への参加	1 全くあてはまらない	29	11.0%	11.4%
		2 あまりあてはまらない	65	24.6%	25.6%
		3 どちらでもない	72	27.3%	28.3%
		4 ややあてはまる	62	23.5%	24.4%
		5 非常にあてはまる	26	9.8%	10.2%
		無回答	10	3.8%	
		合計	264	100.0%	
(4)	通信教育、自己啓発の奨励	1 全くあてはまらない	41	15.5%	16.1%
		2 あまりあてはまらない	66	25.0%	25.9%
		3 どちらでもない	81	30.7%	31.8%
		4 ややあてはまる	54	20.5%	21.2%
		5 非常にあてはまる	13	4.9%	5.1%
		無回答	9	3.4%	
		合計	264	100.0%	

【3】 貴社の「人材確保・定着に対するお考え」についてお伺いします。

人材の確保・定着に向け、特に重視していることは何ですか。

下記のそれぞれの項目について、どの程度あてはまりますか。1～5のうち**1つに○印**を付けてください。

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)	
(1)	経営者が先頭にたって、 自社の経営理念を各従業員に浸透させる	1 全くあてはまらない	17	6.4%	6.6%
		2 あまりあてはまらない	41	15.5%	15.9%
		3 どちらでもない	56	21.2%	21.7%
		4 ややあてはまる	108	40.9%	41.9%
		5 非常にあてはまる	36	13.6%	14.0%
		無回答	6	2.3%	
		合計	264	100.0%	
(2)	人事考課の適正性の向上	1 全くあてはまらない	19	7.2%	7.4%
		2 あまりあてはまらない	40	15.2%	15.6%
		3 どちらでもない	68	25.8%	26.5%
		4 ややあてはまる	107	40.5%	41.6%
		5 非常にあてはまる	23	8.7%	8.9%
		無回答	7	2.7%	
		合計	264	100.0%	
(3)	勤務時間の柔軟性の確保	1 全くあてはまらない	15	5.7%	5.8%
		2 あまりあてはまらない	44	16.7%	17.1%
		3 どちらでもない	61	23.1%	23.6%
		4 ややあてはまる	105	39.8%	40.7%
		5 非常にあてはまる	33	12.5%	12.8%
		無回答	6	2.3%	
		合計	264	100.0%	
(4)	社内のコミュニケーションの活性化	1 全くあてはまらない	15	5.7%	5.8%
		2 あまりあてはまらない	27	10.2%	10.5%
		3 どちらでもない	76	28.8%	29.5%
		4 ややあてはまる	104	39.4%	40.3%
		5 非常にあてはまる	36	13.6%	14.0%
		無回答	6	2.3%	
		合計	264	100.0%	
(5)	福利厚生の実充実	1 全くあてはまらない	16	6.1%	6.2%
		2 あまりあてはまらない	38	14.4%	14.7%
		3 どちらでもない	77	29.2%	29.8%
		4 ややあてはまる	95	36.0%	36.8%
		5 非常にあてはまる	32	12.1%	12.4%

		無回答	6	2.3%	
		合計	264	100.0%	
(6)	賃金水準の向上	1 全くあてはまらない	14	5.3%	5.4%
		2 あまりあてはまらない	30	11.4%	11.6%
		3 どちらでもない	61	23.1%	23.6%
		4 ややあてはまる	118	44.7%	45.7%
		5 非常にあてはまる	35	13.3%	13.6%
		無回答	6	2.3%	
		合計	264	100.0%	

【4】 貴社の「外国人材の雇用状況」についてお伺いします。（ここでは、外国人には、在日韓国・朝鮮・台湾人などの特別永住者証明書の交付を受けている方は含みません。）

現在、外国人材を雇用していますか。（**1つに○印**）

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
1	現在雇用しておらず、今後も雇用を考えていない	133	50.4%	55.0%
2	現在雇用していないが、新たに雇用することを検討中	36	13.6%	14.9%
3	現在雇用している	73	27.7%	30.2%
	無回答	22	8.3%	
	合計	264	100.0%	

下記【5】～【10】は、上記【4】で「3 現在雇用している」と回答された方にお伺いします。

【5】現在、貴社で雇用している「外国人材の人数」についてお伺いします。（ここでは、外国人には、在日韓国・朝鮮・台湾人などの特別永住者証明書の交付を受けている方は含みません。）

現在、貴社で雇用している外国人材の人数の合計

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
	1～5 人	34	46.6%	54.8%
	6～10 人	21	28.8%	33.9%
	11～15 人	4	5.5%	6.5%
	16～20 人	1	1.4%	1.6%
	21 人以上	2	2.7%	3.2%
	無回答	11	15.1%	
	合計	73	100.0%	

現在、貴社で雇用している正社員（役員を含む）の外国人材の人数

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
	0 人	7	9.6%	10.6%
	1～5 人	50	68.5%	75.8%
	6～10 人	11	15.1%	16.7%
	11～15 人	1	1.4%	1.5%
	16～20 人	2	2.7%	3.0%
	21 人以上	2	2.7%	3.0%
	無回答	0	0.0%	
	合計	73	100.0%	

現在、貴社で雇用している非正社員（技能実習生を含む）の外国人材の人数

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
	0 人	18	24.7%	35.3%
	1～5 人	25	34.2%	49.0%
	6～10 人	5	6.8%	9.8%
	11～15 人	3	4.1%	5.9%
	16～20 人	0	0.0%	0.0%
	21 人以上	0	0.0%	0.0%
	無回答	22	30.1%	
	合計	73	100.0%	

専門的・技術的分野の在留資格の外国人材の人数

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
	0人	10	13.7%	21.3%
	1人	14	19.2%	29.8%
	2人	5	6.8%	10.6%
	3人	8	11.0%	17.0%
	4人	3	4.1%	6.4%
	5人	1	1.4%	2.1%
	6人	3	4.1%	6.4%
	7人	1	1.4%	2.1%
	19人	1	1.4%	2.1%
	31人	1	1.4%	2.1%
	無回答	26	35.6%	
	合計	73	100.0%	

身分に基づく在留資格の外国人材の人数

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
	0人	18	24.7%	48.6%
	1人	11	15.1%	29.7%
	2人	3	4.1%	8.1%
	3人	2	2.7%	5.4%
	4人	1	1.4%	2.7%
	5人	1	1.4%	2.7%
	6人	1	1.4%	2.7%
	無回答	36	49.3%	
	合計	73	100.0%	

技能実習の外国人材の人数

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
	0人	12	16.4%	24.5%
	1人	4	5.5%	8.2%
	2人	7	9.6%	14.3%
	3人	10	13.7%	20.4%
	4人	8	11.0%	16.3%
	6人	1	1.4%	2.0%
	7人	5	6.8%	10.2%
	8人	1	1.4%	2.0%
	11人	1	1.4%	2.0%
	無回答	24	32.9%	
	合計	73	100.0%	

特定技能の外国人材の人数

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
	0人	14	19.2%	32.6%
	1人	10	13.7%	23.3%
	2人	3	4.1%	7.0%
	3人	8	11.0%	18.6%
	4人	3	4.1%	7.0%
	6人	1	1.4%	2.3%
	7人	1	1.4%	2.3%
	8人	1	1.4%	2.3%
	11人	1	1.4%	2.3%
	12人	1	1.4%	2.3%
	無回答	30	41.1%	
	合計	73	100.0%	

資格外活動の外国人材の人数

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
	0人	16	21.9%	61.5%
	1人	2	2.7%	7.7%
	2人	3	4.1%	11.5%
	3人	5	6.8%	19.2%
	無回答	47	64.4%	
	合計	73	100.0%	

その他の在留資格の外国人材の人数

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
	0人	13	17.8%	92.9%
	1人	1	1.4%	7.1%
	無回答	59	80.8%	
	合計	73	100.0%	

【6】「外国人材の雇用を開始した主な理由」についてお伺いします。（ここでは、外国人には、在日韓国・朝鮮・台湾人などの特別永住者証明書の交付を受けている方は含みません。）

貴社が外国人材を雇用するようになった当初の主な理由は何ですか。（該当するものすべてに○印）

No.	カテゴリー	件数	% (全体)
1	人材不足を解消するため	68	39.5%
2	事業継続のため必要と考えたから	21	12.2%
3	日本人を採用したいができないから	33	19.2%
4	外国人ならではの能力が必要だから	18	10.5%
5	新たな事業展開を行うにあたり、戦力として必要だから	14	8.1%
6	他社が雇用していたので、一度雇用してみようと思ったから	12	7.0%
7	その他	6	3.5%
	合計	172	100.0%

【7】貴社が雇用している「外国人材が従事する業務」についてお伺いします。（ここでは、外国人には、在日韓国・朝鮮・台湾人などの特別永住者証明書の交付を受けている方は含みません。）

貴社が雇用する外国人材が従事する業務は何ですか。（該当するものすべてに○印）

No.	カテゴリー	件数	% (全体)
1	専門的・技術的分野	55	45.5%
2	生産に関する業務	41	33.9%
3	営業・販売に関する業務	6	5.0%
4	通訳・国際的な業務	8	6.6%
5	事務的な業務	5	4.1%
6	その他	6	5.0%
	合計	121	100.0%

【8】 今後の外国人材の「雇用に対する考え方」についてお伺いします。（ここでは、外国人には、在日韓国・朝鮮・台湾人などの特別永住者証明書の交付を受けている方は含みません。）

(1) 今後の外国人材の雇用について、貴社ではどのようにお考えですか。（**1つに○印**）

No.	カテゴリー	件数	% (全体)
1	外国人の雇用を今より増やしたい	12	14.6%
2	外国人の雇用を現状程度は維持したい	31	37.8%
3	良い人材であれば外国人かどうかは考慮しない	35	42.7%
4	外国人の雇用を今より減らしたい	4	4.9%
	合計	82	100.0%

下記(2)は上記(1)で、「1 外国人の雇用を今より増やしたい」又は「2 外国人の雇用を現状程度は維持したい」と回答された方にお伺いします。

(2) 今後、貴社ではどのような外国人材を雇用したいと考えていますか。

下記のそれぞれの項目について、どの程度あてはまりますか。1～5のうち**1つに○印**を付けてください。

No.		カテゴリー	件数	% (全体)	% (無回答を除く)
(1)	長期間就業できる 人材	1 全くあてはまらない	8	13.6%	14.0%
		2 あまりあてはまらない	2	3.4%	3.5%
		3 どちらでもない	2	3.4%	3.5%
		4 ややあてはまる	14	23.7%	24.6%
		5 非常にあてはまる	31	52.5%	54.4%
		無回答	2	3.4%	
		合計	59	100.0%	
(2)	日本語能力が高い 人材	1 全くあてはまらない	8	13.6%	13.6%
		2 あまりあてはまらない	3	5.1%	5.1%
		3 どちらでもない	7	11.9%	11.9%
		4 ややあてはまる	18	30.5%	30.5%
		5 非常にあてはまる	23	39.0%	39.0%
		無回答	0	0.0%	
		合計	59	100.0%	
(3)	業務に役立つスキ ルのある人材	1 全くあてはまらない	6	10.2%	10.2%
		2 あまりあてはまらない	6	10.2%	10.2%
		3 どちらでもない	7	11.9%	11.9%
		4 ややあてはまる	18	30.5%	30.5%
		5 非常にあてはまる	22	37.3%	37.3%
		無回答	0	0.0%	
		合計	59	100.0%	

(4)	就労活動に制限のない在留資格をもった人材	1	全くあてはまらない	7	11.9%	12.1%
		2	あまりあてはまらない	2	3.4%	3.4%
		3	どちらでもない	10	16.9%	17.2%
		4	ややあてはまる	19	32.2%	32.8%
		5	非常にあてはまる	20	33.9%	34.5%
			無回答	1	1.7%	
			合計	59	100.0%	

【9】「外国人材の育成・定着に向けた取組」についてお伺いします。（ここでは、外国人には、在日韓国・朝鮮・台湾人などの特別永住者証明書の交付を受けている方は含みません。）

(1) 現在、外国人材の育成・定着に向けた具体的な取組を行っていますか。(1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)
1	現在、取り組んでいない	35	37.2%
2	現在、具体的な取組は行っていないが、今後実施していく予定	15	16.0%
3	現在、具体的な取組を行っている	44	46.8%
	合計	94	100.0%

下記(2)は、上記(1)で、「1 現在、取り組んでいない」・「2 現在、具体的な取組は行っていないが、今後実施していく予定」のいずれかに○印をご記入いただいた方にお伺いします。

(2) 外国人材の育成・定着に向けた取組を行っていない理由は何ですか。(該当するものすべてに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)
1	日常業務に追われ人的に余裕がないため	25	37.9%
2	従事期間満了後、帰国させる予定であるため	11	16.7%
3	雇用している外国人材から支援の依頼がないため	10	15.2%
4	どのような支援が適切なのか分からないため	12	18.2%
5	その他	8	12.1%
	合計	66	100.0%

下記(3)は、上記(1)で、「3 現在、具体的な取組を行っている」に○印をご記入いただいた方にお伺いします。

(3) 具体的にどのような取組をされていますか。(該当するものすべてに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)
1	日本語能力向上の支援	33	30.8%
2	業務に関する専門知識に関する教育支援	33	30.8%
3	在留資格、納税、社会保険等各種手続きの支援	28	26.2%
4	外国人材の家族の生活面の支援	9	8.4%
5	その他	4	3.7%
	合計	107	100.0%

【10】 貴社が雇用する「外国人材に期待する役割」についてお伺いします。(ここでは、外国人には、在日韓国・朝鮮・台湾人などの特別永住者証明書の交付を受けている方は含みません。)

下記のそれぞれの項目について、どの程度あてはまりますか。1～5のうち1つに○印を付けてください。

No.	カテゴリー	件数	% (全体)
(1)	現場リーダー (班長、職長など)	1 全くあてはまらない	12 14.5%
		2 あまりあてはまらない	16 19.3%
		3 どちらでもない	19 22.9%
		4 ややあてはまる	27 32.5%
		5 非常にあてはまる	9 10.8%
		合計	83 100.0%
(2)	現場スタッフ (作業員など)	1 全くあてはまらない	11 12.6%
		2 あまりあてはまらない	6 6.9%
		3 どちらでもない	6 6.9%
		4 ややあてはまる	32 36.8%
		5 非常にあてはまる	32 36.8%
		合計	87 100.0%
(3)	管理職 (部門長など経営に関与する人材)	1 全くあてはまらない	18 22.5%
		2 あまりあてはまらない	17 21.3%
		3 どちらでもない	28 35.0%
		4 ややあてはまる	11 13.8%
		5 非常にあてはまる	6 7.5%
		合計	80 100.0%

下記【11】は、現在、外国人材を雇用していない事業者の方も含め、すべての方にお伺いします。

【11】在留資格別の「外国人材の活用状況」についてお伺いします。（ここでは、外国人には、在日韓国・朝鮮・台湾人などの特別永住者証明書の交付を受けている方は含みません。）

在留資格別に下記(1)～(5)の項目が該当する場合は○印を、該当しない場合は×印を付けてください。

No.		カテゴリー	件数	% (全体)
(1)	専門的・技術的分野	1 現在も採用しており、今後も採用予定	55	19.6%
		2 現在採用しているが、今後は採用しない	37	13.2%
		3 今後採用予定	55	19.6%
		4 採用を検討したが断念した	38	13.6%
		5 採用したことがない	95	33.9%
		合計	280	100.0%
(2)	身分に基づく在留資格	1 現在も採用しており、今後も採用予定	50	18.6%
		2 現在採用しているが、今後は採用しない	33	12.3%
		3 今後採用予定	59	21.9%
		4 採用を検討したが断念した	31	11.5%
		5 採用したことがない	96	35.7%
		合計	269	100.0%
(3)	技能実習	1 現在も採用しており、今後も採用予定	49	19.2%
		2 現在採用しているが、今後は採用しない	41	16.1%
		3 今後採用予定	37	14.5%
		4 採用を検討したが断念した	36	14.1%
		5 採用したことがない	92	36.1%
		合計	255	100.0%
(4)	特定活動	1 現在も採用しており、今後も採用予定	37	16.9%
		2 現在採用しているが、今後は採用しない	28	12.8%
		3 今後採用予定	33	15.1%
		4 採用を検討したが断念した	27	12.3%
		5 採用したことがない	94	42.9%
		合計	219	100.0%
(5)	資格外活動	1 現在も採用しており、今後も採用予定	28	13.7%
		2 現在採用しているが、今後は採用しない	29	14.1%
		3 今後採用予定	30	14.6%
		4 採用を検討したが断念した	27	13.2%
		5 採用したことがない	91	44.4%
		合計	205	100.0%

下記の【12】は、上記【11】で、各在留資格の活用意向について、「(1)現在も採用しており今後も採用予定」・「(2)現在採用しているが、今後は採用しない」・「(3)今後採用予定」のいずれかに○印をご記入いただいた方にお伺いします。

【12】外国人材を「活用したいと考える理由」についてお伺いします。（ここでは、外国人には、在日韓国・朝鮮・台湾人などの特別永住者証明書の交付を受けている方は含みません。）

下記のそれぞれの項目について、どの程度あてはまりますか。1～5のうち1つに○印を付けてください。

No.		カテゴリー	件数	% (全体)
(1)	国籍に関係なく優秀な人材を確保するため	1 全くあてはまらない	13	10.6%
		2 あまりあてはまらない	11	8.9%
		3 どちらでもない	13	10.6%
		4 ややあてはまる	35	28.5%
		5 非常にあてはまる	51	41.5%
		合計	123	100.0%
(2)	職務上、外国語の使用が必要なため	1 全くあてはまらない	44	37.9%
		2 あまりあてはまらない	24	20.7%
		3 どちらでもない	20	17.2%
		4 ややあてはまる	15	12.9%
		5 非常にあてはまる	13	11.2%
		合計	116	100.0%
(3)	外国人ならではの技能・発想を取り入れるため	1 全くあてはまらない	24	20.5%
		2 あまりあてはまらない	31	26.5%
		3 どちらでもない	36	30.8%
		4 ややあてはまる	16	13.7%
		5 非常にあてはまる	10	8.5%
		合計	117	100.0%
(4)	人件費を低く抑えることができるため	1 全くあてはまらない	27	23.1%
		2 あまりあてはまらない	29	24.8%
		3 どちらでもない	34	29.1%
		4 ややあてはまる	20	17.1%
		5 非常にあてはまる	7	6.0%
		合計	117	100.0%
(5)	現場リーダーを育成するため	1 全くあてはまらない	19	16.2%
		2 あまりあてはまらない	30	25.6%
		3 どちらでもない	39	33.3%
		4 ややあてはまる	23	19.7%
		5 非常にあてはまる	6	5.1%
		合計	117	100.0%

下記の【13】は、【11】で、各在留資格の活用意向について、「(4)採用を検討したが断念した」・「(5)採用したことがない」のいずれかに○印をご記入いただいた方にお伺いします。

【13】各在留資格の外国人材の「活用を考えていない理由」についてお伺いします。（ここでは、外国人には、在日韓国・朝鮮・台湾人などの特別永住者証明書の交付を受けている方は含みません。）

下記のそれぞれの項目について、どの程度あてはまりますか。1～5のうち1つに○印を付けてください。

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	
(1)	外国人の採用自体に消極的だから	1 全くあてはまらない	26	15.9%
		2 あまりあてはまらない	18	11.0%
		3 どちらでもない	30	18.3%
		4 ややあてはまる	45	27.4%
		5 非常にあてはまる	45	27.4%
		合計	164	100.0%
(2)	社内の受入体制が整っていないから	1 全くあてはまらない	25	15.4%
		2 あまりあてはまらない	18	11.1%
		3 どちらでもない	20	12.3%
		4 ややあてはまる	40	24.7%
		5 非常にあてはまる	59	36.4%
		合計	162	100.0%
(3)	在留資格の変更など外国人を雇用する手続きが煩雑であるため	1 全くあてはまらない	24	15.4%
		2 あまりあてはまらない	19	12.2%
		3 どちらでもない	33	21.2%
		4 ややあてはまる	35	22.4%
		5 非常にあてはまる	45	28.8%
		合計	156	100.0%
(4)	募集の仕方が分からないから	1 全くあてはまらない	29	18.6%
		2 あまりあてはまらない	28	17.9%
		3 どちらでもない	53	34.0%
		4 ややあてはまる	23	14.7%
		5 非常にあてはまる	23	14.7%
		合計	156	100.0%
(5)	最近、日本人を含めて社員を採用していないから	1 全くあてはまらない	58	36.5%
		2 あまりあてはまらない	26	16.4%
		3 どちらでもない	27	17.0%
		4 ややあてはまる	18	11.3%
		5 非常にあてはまる	30	18.9%
		合計	159	100.0%

下記の【14】は、【11】で、在留資格「技能実習」について、「(1)現在も採用しており今後も採用予定」・「(2)現在採用しているが、今後は採用しない」・「(3)今後採用予定」のいずれかに○印をご記入いただいた方にお伺いします。

【14】「実習を修了した技能実習生の活用意向」についてお伺いします。

実習を修了した技能実習生の活用意向について、貴社ではどのようにお考えですか。(1つに○印)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)
1	特定技能の在留資格を申請し、自社で継続雇用する	47	73.4%
2	特定技能以外の在留資格を申請し、自社で継続雇用する	9	14.1%
3	自社の海外拠点で雇用する	1	1.6%
4	自社との雇用契約を終了し、実習生を帰国させる	7	10.9%
5	実習生が日本での就業継続を希望する場合、他社への就職を斡旋する	0	0.0%
	合計	64	100.0%